



金田 実氏

長嶋 新佐久氏

2012－2013年度
国際ロータリー第2530地区
インターアクトクラブ リーダー研修会
「強いリーダーシップ養成講座」

会津喜多方青年会議所
指導力開発委員長 江花 圭司



金田 実氏

長嶋 新佐久氏

2014－2015年度
第27回 国際ローターアクトクラブ研修会
「未来を担うひと創りワークショップ」

会津若松南ローターアクトOB

林英臣政経塾第七期 江花 圭司

まず、はじめに！！

今日が皆さまの人生の転機になる日です！



宇宙一強いのは？スーパーサイヤ人か大猿か？



意志はあるか！

心に描いているものは
あるか？

自分も活躍したい、何かしてみたい！

心に描いたことだけが、実を結ぶ可能性があります！

問 富士山に登ったのは、どういう人でしょうか？

答 富士山に登ろうと思った人

【理由】

理由は何であれ、登ろうと思ったから山頂に到達したのです。
普段から足腰を鍛え、友人から熱く誘われても、登ろうと決心しなければ事は始まらないのです。

何かしようとする気持ち、あることを目指そうとする心が
「ころざし」です。なんらかの目標を「目指す心」のことです。

「志」は「士」サムライと「心」の組合せで「士」は「之」がもとで
「足」を意味します。

「士」は、実際に足で進もうとするフットワークの良さを示し
「心」がつくことから、進もうとする心、行動する精神を
「志」というのです。

素志を描き、志をつかみ、志を立て立志とす！

心に描いたことだけが、実を結ぶ可能性がある！

富士山は例えですが
「山」は、私たちが登っていく**「人生の目標」**

誰にでも、生まれてきた目的や、何らかの役割があります。
それを見つけ、そこに向かって登ろうとする決意です。

それが志を立てること「立志」の意味です。

昔も今も、何かを成した人は、必ず「志」を立てていました。

まずは、漠然とした志である「素志」で構いません。

素志を心に描いていれば、そちらの方向へ向かっていきます。

多くの素志を描いてください！

ある時がくると人の出会いによって
突然「志」をつかんでしまう場合があります！

立志の節目にどんな夢を描き目標を立てられるか！



この大人と子どもとの節目に**どんな夢を描き、目標を立てられるか**がとても大事になります。
「吾十有五にして学に志す」
孔子が**十代の立志が重要**だと説いています。

立志式は、十五歳頃にあたります。大人と子どもとの間で大事な年齢です。
体格はドンドン大きくなるのに、精神の成長はそれに伴わない。情緒不安定になりがちで、エネルギーを持て余してバランスを欠くことの多い年頃です。

厳しい時代だから熱く燃えられる！

平成24年12月12日(水) 金曜 号外

北ミサイル発射



動物虐待 ポイ捨て いじめ
殺処分 しょうがない 子ども虐待
屠殺 自分さえ良ければいい ストーカー
ジェノサイド 戦争 痴漢・レイプ



志は、いつ立てるか？

く燃えられる時代はないはず。

志を立てようとする者にとって、これほど熱

厳しい時代だから志を立てることのでやり甲斐のある人生が可能となる。

心に描いたものによってとはつまらない方へどんな流される。

志を立てるためのヒント

志を立てると、なぜ成長するのか？

志のない者は、魂の抜けた虫と同じだ。
いつまでたっても成長できない。

だが、一度志を立ててしまえば
それから、日夜段々と成長していきます。

志が無いのは「無志」であり「虫」であります。

西郷隆盛が尊敬した
橋本左内の啓発録より

聖人 中江 藤樹 の 陽明学



喜多方の教育「北方の藤樹学」

「知行合一 ちこういついつ」

知ったからには行わなければならない
行ってこそ知ったことが完成する。
だから、行えないうちは
まだ知ったとは言えない。

自分を磨くことと世の中の役に立つことを一致させよう！

例えば

地位・名誉

① 博士になることは

手段

目的



研究によって
人類の進歩に貢献すること

② 大臣になることは

手段

目的



政治によって
国民を幸せに導くこと

③ 社長になることは

手段

目的



経営によって
世の中を豊かにすること

③ 医師になることは

手段

目的



治療によって
病に苦しむ人々を救うこと

これを忘れると

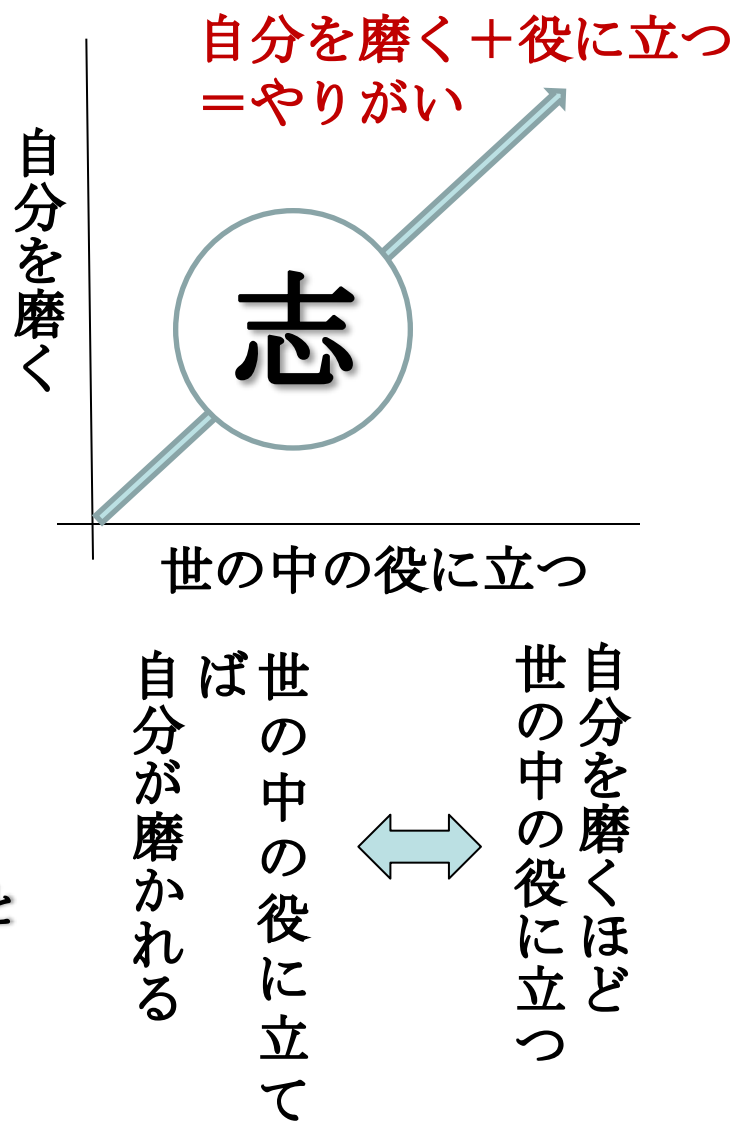
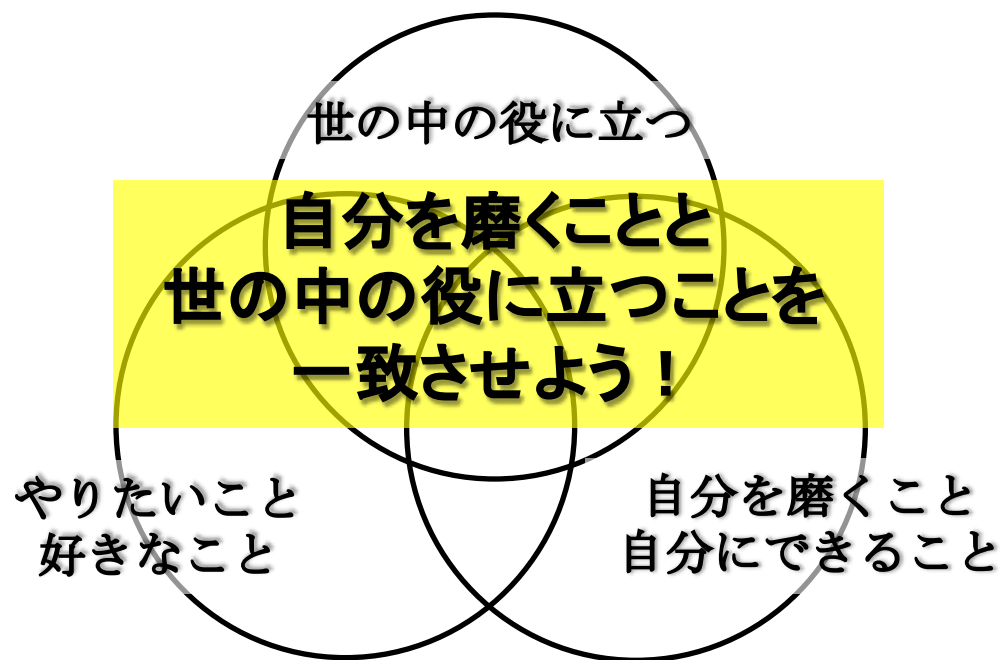
地位や名誉を目的にすると、自分の欲得のために、人をだましたり、蹴落とし
たりもしてしまいます。

名利にとらわれた生き方は自分勝手、周囲や環境に迷惑を及ぼします。

自分を磨くことと世の中の役に立つことを一致させよう！

学歴や地位、名誉を否定するわけではなく、決して人生の目的ではありません。
あくまでも手法であり努力の結果！

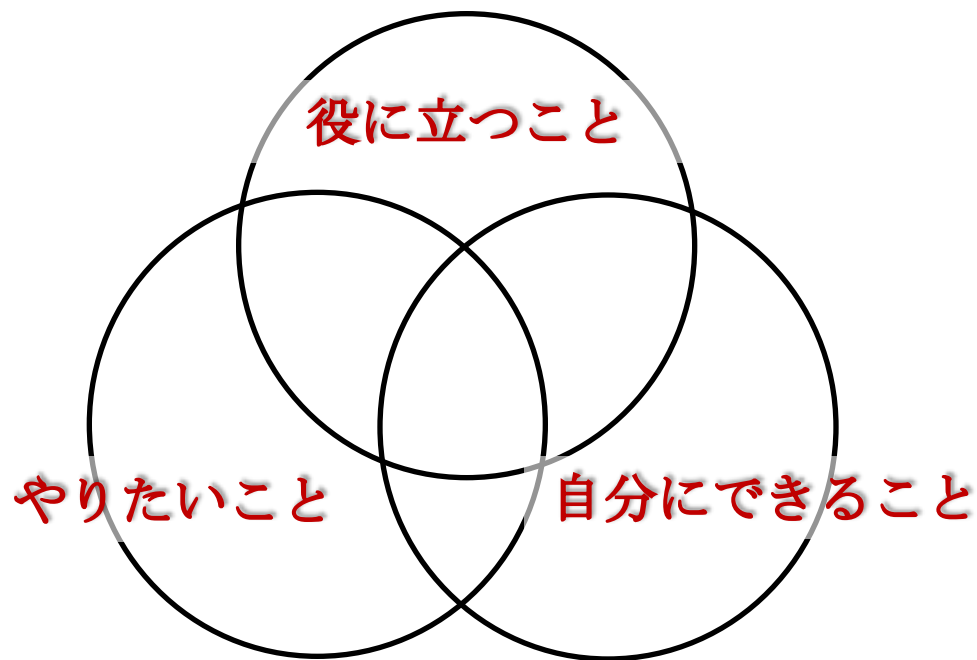
3つの円で自分を見つめてみよう！



自分が選んだ好きな道で人に喜ばれる人生がある

例えば 下記のような 志を立てている青年がいたとします。

医師の資格をとって慢性病に苦しんでいる人々を救いたい！



1つ目の円(できること)

勉強して医学の資格をとる

2つ目の円(役に立つこと)

慢性病の解決をしたい

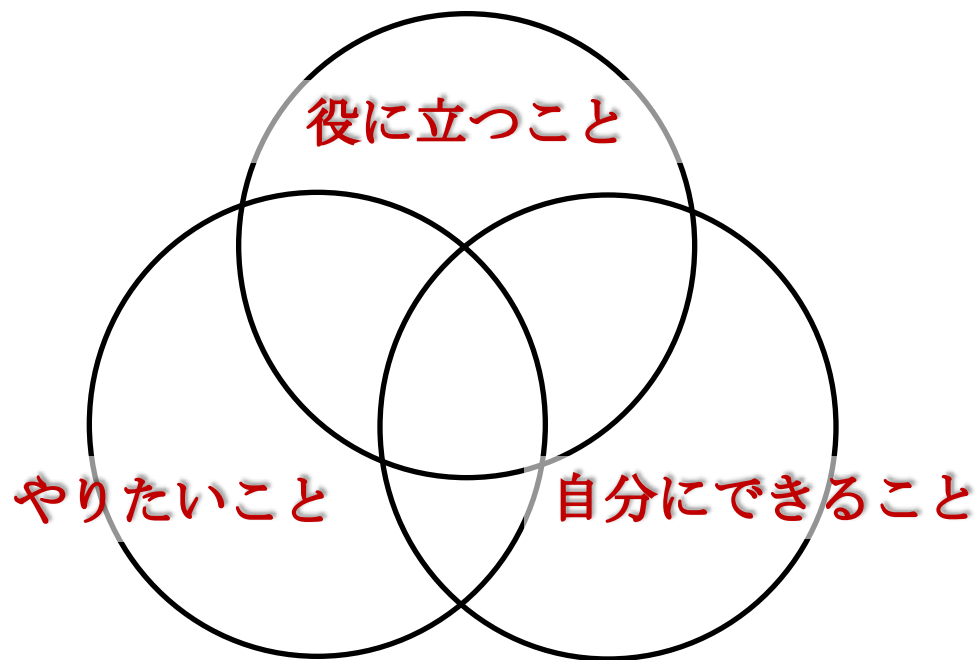
3つ目の円(やりたいこと)

文章にはありませんが
医学の研究や診療の仕事をしたい

自分が選んだ好きな道で人に喜ばれる人生がある

例えば 下記のような 志を立てている青年がいたとします。

簿記の資格をとって零細企業の利益を上げ地域を元気にしたい！



1つ目の円(できること)

勉強して簿記の資格をとる

2つ目の円(役に立つこと)

企業の仕事を円滑にし
利益を上げさせたい

3つ目の円(やりたいこと)

地域を元気にしたい

志を立てるヒントとして簡単に言うと

「できること」と「役に立つこと」と「やりたいこと」の一致！

喜びには3段階ある

自分のやりたいことや好きなことで人から喜ばれたら
本当に幸せな人生になるでしょう！

その喜びは人間にしか味わうことができない、とても尊い感情です。
喜びの三段階！

第一段 してもらう喜び

感謝の心が必要

第二段 できる喜び

何のために活かすか

第三段 喜ばれる喜び

おもいやり・まごころ

これらの気持ちがなくなると！

してもらうのが当たり前
取ってしまおう、奪おう
権利を主張するばかり！

褒められたいと思い肩
書や名誉にこだわって
しまう！負けまいと我
を張る！

無関心、自己中心的にな
ってしまう！

お陰様で

お互い様

譲り合う
日本の精神文化

相手の役に立てば
自分も感動し幸せになる
生き方が美しい！

さあ！人生年表を書いてみましょう！

明るい将来へのヒントがたくさんつまった自分の年表

[illegible]

人生年表をなぜ書くのか？！

明るい将来へのヒントがたくさんつまった自分の年表

普段の生活が忙しいとどうしても「今」のことで頭がいっぱいになりがち。
追い込まれている時ほど、原点を見失いやすく
ただでさえ大変な「今」に加えて先のことも考えられなくなることが
多く振り返る時間などそうそうとれません。

追い込まれた時ほど自分の本質が試されます！

そんな迷った時のために、じっくりと過去を振り返っておくと
そこからヒントや答えを見つけることができるのです。

それが、「人生年表」です！

**ただし、きっちりと過去を振り返り
将来を切り拓く時間です。**

目標を書くことの大切さについての事例

ハーバード大学が、以前、興味深い調査をしたことがあります。
自学のMBA（経営管理学修士）修了生に向けてアンケートを行いました。

「あなたは、目標を紙に書いていますか？」の問いに
どれくらいの学生が目標を紙に書いていたと思われますか？

大抵、「80%」とか、「90%」という答えが返ってきます。
が！

皆さんの中で、目標を紙に書いている方どれくらいおられますか？

アンケートの結果、ハーバード大学MBA修了生のうち、
「目標を紙に書いていた人」は
わずか「3%」に過ぎなかったようです！

何と大学は、その年の卒業生全員に対して
10年間の追跡調査をしました。

目標を書くことの大切さについての事例 10年後

卒業から10年後、「年収」の比較をしたところ、
当時、「目標を紙に書いていた」3%の人たちは、
「目標はあっても、紙には書いていなかった」
あるいは「目標すら持っていなかった」
残りの97%の人たちと比べて、どれくらいの差が出たか？

なんと平均して「**10倍**」もの年収を得ていたそうです。

つまり、それくらい、目標を紙に書くことは
重要かつその方向に向かっていく
スイッチが入り本気が持続されるということです！

これは幾つもの調査項目のうちの
「年収」だけをピックアップしていますが
目標を可視化することで
「**目標を紙に書いたものは叶う**」という証明でもあります。

本気のスイッチを入れる、強力なツール

- ④将来については
実現できるか、できないかは
関係なく夢を記入します。**

残された時間の中で、いかに人生を燃やし切るか。
どんな親孝行をするか。パートナーや子どもたちに
どんな機会や時間を与えてやれるか！自分の役割が見えてきます。

付録 西暦・和暦・年齢表

西暦	和暦	年齢	西暦	和暦	年齢	西暦	和暦	年齢
1960年	昭和35年	53歳	1980年	昭和55年	33歳	1999年	平成11年	14歳
1961年	昭和36年	52歳	1981年	昭和56年	32歳	2000年	平成12年	13歳
1962年	昭和37年	51歳	1982年	昭和57年	31歳	2001年	平成13年	12歳
1963年	昭和38年	50歳	1983年	昭和58年	30歳	2002年	平成14年	11歳
1964年	昭和39年	49歳	1984年	昭和59年	29歳	2003年	平成15年	10歳
1965年	昭和40年	48歳	1985年	昭和60年	28歳	2004年	平成16年	9歳
1966年	昭和41年	47歳	1986年	昭和61年	27歳	2005年	平成17年	8歳
1967年	昭和42年	46歳	1987年	昭和62年	26歳	2006年	平成18年	7歳
1968年	昭和43年	45歳	1988年	昭和63年	25歳	2007年	平成19年	6歳
1969年	昭和44年	44歳	1989年	昭和64年	24歳	2008年	平成20年	5歳
1970年	昭和45年	43歳		平成元年		2009年	平成21年	4歳
1971年	昭和46年	42歳	1990年	平成2年	23歳	2010年	平成22年	3歳
1972年	昭和47年	41歳	1991年	平成3年	22歳	2011年	平成23年	2歳
1973年	昭和48年	40歳	1992年	平成4年	21歳	2012年	平成24年	1歳
1974年	昭和49年	39歳	1993年	平成5年	20歳	2013年	平成25年	0歳
1975年	昭和50年	38歳	1994年	平成6年	19歳			
1976年	昭和51年	37歳	1995年	平成7年	18歳			
1977年	昭和52年	36歳	1996年	平成8年	17歳			
1978年	昭和53年	35歳	1997年	平成9年	16歳			
1979年	昭和54年	34歳	1998年	平成10年	15歳			



自分年表が完成！じっくり眺めてみましょう

ひととおり書き終わったら、上から読み返してきます。

氏 名： 北方 太郎

人 生 年 表

作成日：平成〇〇年(2017年4月11日)

西暦	年齢	自 分 史 (〇〇な環境で□□になった)	家 族 欄			転機や気付き
1970年	0歳	11月8日、舞鶴市にて生まれる。				自分自身の経歴や起きた出来事が文字にされて時系列で並べられると、客観的に眺めることができるはずです。
1971年～88年		ごく普通の家庭環境。幼少期は活発だったが、高校ではつまらない				
1989年	19	金沢工業大学入学、一人暮らし。				
1990年	20					
1991年	21	競技スキ一部主将				客観的に年表を見て ・随分とツイているな！ ・同じ失敗ばかりしているな。 ・3年サイクルで仕事に飽きているな ・追い詰められると結果を出すな ・頼まれると断りきれずに色々やってきているな ・好きではないと思っていた仕事の方が評価されているな などなど...
1992年	22					
1993年	23	金沢工業大学大学院へ				
1994年	24					
1995年	25	舞鶴へ帰郷。実家の建設業を手伝う。				気付きを得るはずです！
1996年	26					
1997年	27	一級建築士取得				
1998年	28	一級土木施工管理技士取得				
1999年	29	舞鶴青年会議所 入会				まわりには良い影響を及ぼせられるような
2000年	30	結 婚	妻28歳			
2001年	31	長男に障害が発覚、翌年大手術。	29	長男誕生		
2002年	32	岡本建設工業 設立	30	1歳		
2003年	33		31	2		
2004年	34		32	3		
2005年	35		33	4		
2006年	36	支社・支店全国20社に拡大	34	5		
2007年	37	建設業組合長 就任	35	6		
2008年	38		36	7	第2子誕生	
2009年	39		37	8	1歳	
2010年	40		38	9	2	

人生年表の全体を読み返した後の作業

氏 名： 北方 太郎

人 生 年 表

作成日：平成〇〇年(2017年4月11日)

西暦	年齢	自 分 史 (〇〇な環境で□□になった)	家族欄	転機や気づき
1970年	0歳	11月8日、舞鶴市にて生まれる。		
1971年～88年		ごく普通の家庭環境。幼少期は活発だったが、高校ではつまらない生活を送ったと思っている。		
1989年	19	金沢工業大学入学、一人暮らし。		一度リセットして、大学時代に自分らしさを構築したいと考えた。
1990年	20			
1991年	21	競技スキ一部主将		
1992年	22			
1993年	23	金沢工業大学大学院へ		
1994年	24			
1995年	25	舞鶴へ帰郷。実家の建設業を手伝う。		
1996年	26			
1997年	27	一級建築士取得		
1998年	28	一級土木施工管理技士取得		
1999年	29	舞鶴青年会議所 入会		
2000年	30	結 婚	妻28歳	
2001年	31	長男に障害が発覚、翌年大手術。	29 長男誕生	

全体を読み返したら、一番右の列にその出来事に対してのコメントを書き出します。

2005年	35		33	4	
2006年	36	本社、本店全国20店舗に拡大	34	5	
				6	激戦の末、舞鶴市建設体制が変わった。

「嬉しかった」、「辛かった」といった感想やもっと踏み込んで「こうすれば良かった」「この出来事の原点はここにある」など書き出された人生年表に対して思いつくままコメントをしていきます。

コメントが入れば
人生年表の完成です！

枝葉(徹底)持続



幹(本氣)立志

根(大局)栄養

種(原点)素志

人生を大木でイメージする

- ◆ 樹木ならば種の段階でどんな木に育つかが決まっています。
→ 松の種は松になり、杉の種は杉になります。
- ◆ 人間の場合、「どういう生き方をするのか」という選択の幅があります。
- ◆ 最初にはないものは、最後までない。
→ 種がなければ、芽も出ず、根も張らない人生で終わってしまいかねない。



- ◆ 種は、苦しさやスランプを乗り越える根源力となる。
- ◆ 危機を危機と感じる感性があるかどうか。
- ◆ どこまで我が事と思えるか。
 - 心のセンサーを張る
 - 人として美しい生き方をする。
 - あの人と言うなら賛成する
あの人が動くならついていく

人生年表完成後の活用の仕方

【人生年表】

氏名：北村 健郎 作成日：平成〇〇年(2017年4月11日)

西暦	年齢	自 分 史 (〇〇な環境で〇〇になった)	家族欄	転機や気づき
1970年	0歳	11月8日、舞鶴市にて生まれる。		
1971年～88年		ごく普通な家庭環境。幼少期は活発だったが、高校ではつまらない生活を送ったと思っている。		
1989年	19	金沢工業大学入学、一人暮らし。		一度リセットして、大学時代に自分らしさを構築したいと考えた。
1990年	20			
1991年	21	競技スキー部主将		
1992年	22			
1993年	23	金沢工業大学大学院へ		
1994年	24			
1995年	25	舞鶴へ帰郷。実家の建設業を手伝う。		
1996年	26			
1997年	27	一級建築士取得		
1998年	28	一級土木施工管理技士取得		
1999年	29	舞鶴青年会議所 入会		
2000年	30	結 婚	妻28歳	
2001年	31	長男に障害が発覚、翌年大手術。	29 長男誕生	
2002年	32	岡本建設工業 設立	30 1歳	舞鶴市の市を絶対に変えようと決心する。
2003年	33		31 2	
2004年	34		32 3	
2005年	35		33 4	
2006年	36	支社・支店全国20社に拡大	34 5	
2007年	37	建設業組合長 就任	35 6	激戦の末、舞鶴市建設体制が変わった。
2008年	38		36 7 第2子誕生(希望)	
2009年	39		37 8 1歳・とにかく自分を磨く	
2010年	40		38 9 2歳・そわそわに良い夜を過ごせるような	
2011年	41	京都府議会議員へ	39 10 3歳・議員に。	

【自分の四綱領】

一、 原点 人生の種 (素志)。

何のため誰のためにどんな生き方をしようと思ったのか？
※漠然とした素朴な願いで構わない。

原 点 (素志)
人生の種から発芽する！

■ 師との出会い (29才)

師との出会いに衝撃を受ける。素晴らしく純粋で一直線な師と共に日本を変え、世界を救うことのできる日本を興すことに一生を捧げると心に誓う。

二、 大局 人生の根。どこまで我が事と思えるか？どこが活動舞台か？

日本の未来が心配であり、子どもたちのためにも今のままの日本を放っておけない。
日本の調和思想(おかげさまや思いやりの心、人にも物にも自然にも)が世界を救う力
ギである。

本 氣 (立志)
人生の幹が太く伸びていく！

四、 徹底 人生の枝葉。

繁栄させるための知恵・工夫・戦略。諦めない継続は何か？

■ 日本青年会議所の委員会運営

- ・ 全国の志ある同志が人間力を高め、価値観を共有し連帯する。
- ・ 新規セミナー運営成功のため、自らが積極的に参加する。
- ・ 大阪9区内において同志から国会議員を誕生させるため行動する。

■ 青年経済人としての経験を積み、能力を磨く

- ・ 市民からも信頼される活動(小さい約束を守る)
- ・ 地域活動の取組みに積極的参加

■ LOM内新入会員の受入れ

- ・ 新入会員の指導を通じて指導者としての人間力を磨く

**人生年表を書くことで漠然とした素志が
時系列で並び
「この出来事の原点はここにある」という
忘れかけていた素志の中で
原点が見つかる可能性が高まります。**

**時間が有限であることを実感し
しっかりと向き合っていると
新たな決意が湧いてきます！
「立志」である四綱領の本氣に繋がります。**

人生年表完成後の活用の仕方

【人生年表】

氏名：北方 太郎 人生年表 作成日：平成〇〇年(2017年4月11日)

西暦	年齢	自分史 (〇〇な環境で〇〇になった)	家族欄	転機や気づき
1970年	0歳	11月8日、舞鶴市にて生まれる。		
1971年～88年		ごく普通の家庭環境。幼少期は活発だったが、高校ではつまらない生活を送ったと思っている。		
1989年	19	金沢工業大学入学、一人暮らし。		一度リセットして、大学時代に自分らしさを構築したいと考えた。
1990年	20			
1991年	21	競技スキー一部主将		
1992年	22			
1993年	23	金沢工業大学大学院へ		
1994年	24			
1995年	25	舞鶴へ帰郷。実家の建設業を手伝う。		
1996年	26			
1997年	27	一級建築士取得		
1998年	28	一級土木施工管理技士取得		
1999年	29	舞鶴青年会議所 入会		
2000年	30	結 婚	妻28歳	
2001年	31	長男に障害が発覚、翌年大手術。	29 長男誕生	
2002年	32	岡本建設工業 設立	30 1歳	舞鶴市の市を絶対に変えようと決心する。
2003年	33		31 2	
2004年	34		32 3	
2005年	35		33 4	
2006年	36	支社・支店全国20社に拡大	34 5	
2007年	37	建設業組合長 就任	35 6	激戦の末、舞鶴市建設体制が変わった。
2008年	38	多くの素志の中から原点が見つかり	36 7	希望を
2009年	39	活動の場所や役割	37 8	とにか自分磨き。
2010年	40		38 9	まわりに良い影響を及ぼせられるような
2011年	41	京都府議会議員	39 10	議員に。

どこまで自分が活躍できるかが
わかってくる！

原点から派生する本気の気持ちを
認識したことで目的達成のための
手法や知恵、工夫、戦略
あきらめないための継続方法が明確化

【自分の四綱領】

一、 原点 人生の種 (素志)。

何のため誰のためにどんな生き方をしようと思ったのか？

※漠然とした素朴な願いで構わない。

■ 人の役に立つ人生を送りたい (25才ころ)

顧客第一主義を言葉で唱え、実際は会社第一主義である会社に強い憤りを覚え会社の変革を目指し行動する。一部の人は理解を示してくれたが、長いものには巻かれる的な会社の大人たちを目の当りにし強い挫折感を覚える。私はもっと多くの人に感謝される人生を送りたいと感じながら悶々としたサラリーマン生活を送っていた。

■ 師との出会い (29才)

師との出会いに衝撃を受ける。素晴らしく純粋で一直線な師と共に日本を変え、世界を救うことのできる日本を興すことに一生を捧げると心に誓う。

大 局
人生の根っこが伸びていく！

三、 本気 人生の幹 (立志)。人生を賭けて具体的に何をするのか？

世界が共生できる社会へと導ける日本になるよう日本を輝かせる。

四、 徹底 人生の枝葉。

繁栄させるための知恵・工夫・戦略。諦めない継続は何か？

■ 日本青年会議所の委員会運営

徹 底
人生の枝葉が茂っていく！

・地域活動の取組みに積極的参加

■ LOM内新入会員の受入れ

・新入会員の指導を通じて指導者としての人間力を磨く

人生年表と自分の四綱領の更新バージョンアップ

【人生年表】

氏 名： 北方 太郎		人 生 年 表		作成日：平成25年(2013年)4月16日	
自 分 史 (志と環境)		家族欄		人生の大路	
1970年	0歳	11月8日、舞鶴市にて生まれる。			
1971年～88年		ごく普通な家庭環境。幼少期は活発だったが、高校ではつまらない生活を送ったと思っている。			
1989年	19	金沢工業大学入学、一人暮らし。		一度リセットして、大学時代に自分らしさを構築したいと考えた。	
1990年	20				
1991年	21	競技スキー部主将			
1992年	22				
1993年	23	金沢工業大学大学院へ			
1994年	24				
1995年	25	舞鶴へ帰郷。実家の建設業を手伝う。			
1996年	26				
1997年	27	一級建築士取得			
1998年	28	一級土木施工管理技士取得			
1999年	29	舞鶴青年会議所 入会			
2000年	30	結 婚			
2001年	31	長男に障害が発覚、翌年大手術。	29 長男誕生		
2002年	32	岡本建設工業 設立	30 1歳	舞鶴市の市を絶対に変えようと決心する。	
2003年	33		31 2歳		
2004年	34		32 3歳		
2005年	35		33 4歳		
2006年	36	支社・支店全国20社に拡大	34 5歳		
2007年	37	建設業組合長 就任	35 6歳	激戦の末、舞鶴市建設体制が変わった。	

日々の活動で気づきを得たら

自分の人生に「置き換える」

「自分の四綱領」と「人生年表」のバージョンアップ

負けない強いリーダーシップを発揮し
目標を紙に書いたものは叶う！

【自分の四綱領】

一、 原点 人生の種 (素志)。

何のため誰のためにどんな生き方をしようと思ったのか？

※漠然とした素朴な願いで構わない。

■ 人の役に立つ人生を送りたい (25才ころ)

顧客第一主義を言葉で唱え、実際は会社第一主義である会社に強い憤りを覚え会社の変革を目指し行動する。一部の人は理解を示してくれたが、長いものには巻かれる的な会社の大人たちを目の当りにし強い挫折感を覚える。私はもっと多くの人に感謝される人生を送りたいと感じながら悶々としたサラリーマン生活を送っていた。

■ 師との出会い (29才)

師との出会いに衝撃を受ける。素晴らしく純粋で一直線な師と共に日本を変え、世界を救うことのできる日本を興すことに一生を捧げると心に誓う。

二、 大局 人生の根。どこまで我が事と思えるか？どこが活動舞台か？

日本の未来が心配であり、子どもたちのためにも今のままの日本を放っておけない。日本の調和思想(おかげさまや思いやりの心、人にも物にも自然にも)が世界を救う力かである。

三、 本氣 人生の幹 (立志)。人生を賭けて具体的に何をするのか？

世界が共生できる社会へと導ける日本になるよう日本を輝かせる。

四、 徹底 人生の枝葉。

繁栄させるための知恵・工夫・戦略。諦めない継続は何か？

■ 日本青年会議所の委員会運営

・全国の志ある同志が人間力を高め、価値観を共有し連帯する。

・新規セミナー運営成功のため、自らが積極的に参加する。

・大会・区内にない同志が、全国で共生させるため行動する。

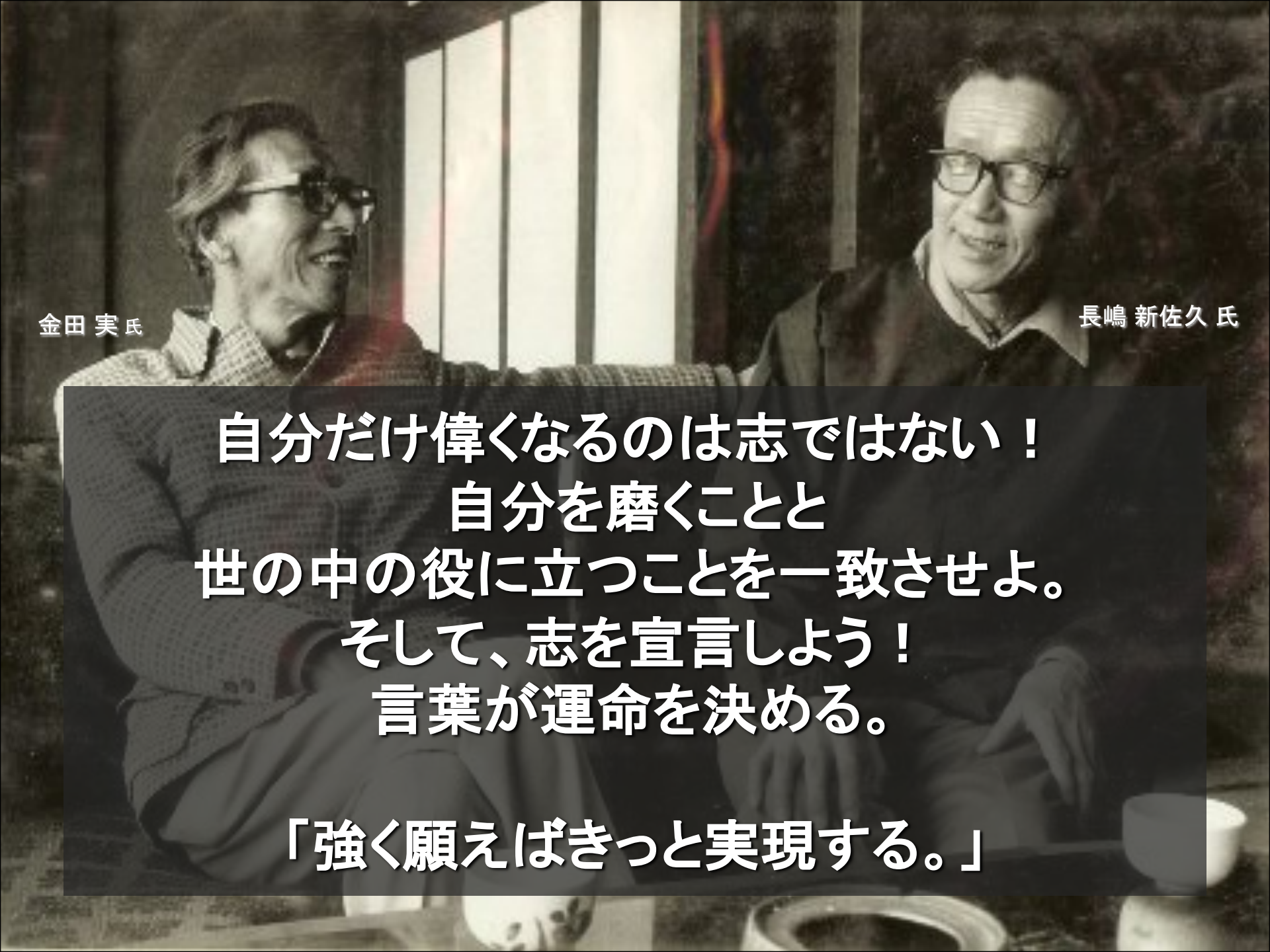
■ 青年経済者としての企業発展と社会貢献

・市民からも信頼される活動(小さい約束を守る)

・地域活動の助成金・積極的参加

■ セミナー新入会員の受入れ

・新入会員の指導を通じて指導者としての人間力を磨く



金田 実氏

長嶋 新佐久氏

自分だけ偉くなるのは志ではない！
自分を磨くことと
世の中の役に立つことを一致させよ。
そして、志を宣言しよう！
言葉が運命を決める。

「強く願えばきっと実現する。」